

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2025
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.30 (2025. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20250701--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三 田 社 会 学

第 30 号

2025 年

『三田社会学』創刊30年に寄せて

澤井 敦 1

特集：儀礼空間が創る宗教、実践が創る儀礼空間——テクノロジー・身体性・規範に注目して

特集「儀礼空間が創る宗教、実践が創る儀礼空間

——テクノロジー・身体性・規範に注目して」に寄せて

三尾 裕子 2

儀礼空間としての禅堂——実践と静寂空間の関係性

東島 宗孝 4

修行を通じた儀礼空間の継続——金剛山の山伏集団に注目して

東野 隆弘 18

「鬧熱（ナオネイ）」を生み出す

——広東省梅州市の香花葬儀からみた霊的存在との交渉を支える物質的環境

ケイ 光大 29

ジェンダー的視点から見た神社における人生儀礼の維持と変容

——「安産祈願」と「初宮詣」を事例に

牧田小有玲 42

論文

食物アレルギーのある子どもの経口免疫療法に取り組むことの意味

——母親への継続的なインタビューにもとづく経時的変化の記述

松木 洋人 52

「不可視化」するインフラの社会学にむけて

——維持・補修論を手がかりに

水田 綾奈 64

ビューポイント

奥井復太郎の都市計画論——その今日的意義と実践の展望

須藤 文彦 78

書評

書評：笠井賢紀・田島英一編

『パブリック・ヒストリーの実践——オルタナティブで多声的な歴史を紡ぐ』

木村 豊 82

書評：片岡栄美・村井重樹編

『ブルデュー社会学で読み解く現代文化』

松下 優一 85

書評：阪井裕一郎著

『結婚の社会学』

吉武 理大 88

著者リプライ

阪井裕一郎 91

書評：鈴木正崇著

『日本の山の精神史——開山伝承と縁起の世界』

東野 隆弘 93

著者リプライ	鈴木 正崇	96
書評：近森高明・右田裕規編著		
『夜更かしの社会史——安眠と不眠の日本近現代』	鳥越 信吾	98
書評：津田正太郎著		
『ネットはなぜいつも揉めているのか』	平井 智尚	102
著者リプライ	津田正太郎	105
書評：山本直子著		
『「多文化共生」言説を問い直す		
——日系ブラジル人第二世代・支援の功罪・主体的な社会編入』	中村 翔	109
著者リプライ	山本 直子	112

2024年度三田社会学会大会報告要旨

Analysis of the Effects of Employment and Life Stage		
on the Life Satisfaction and Happiness of Married Women	Ting Wang	114
トルコの多様性の包摂に関する一考察		
——シリア難民集住地域を焦点にして	鈴木 慶孝	115
誰が日本での進学を望むのか？	中村 翔	119
——移民の親の教育アスピレーション	北村 友宏	
	竹ノ下弘久	

『三田社会学』投稿規定および執筆要項